

## 女子委員会活動報告

女子委員会  
委員長 佐藤 厚子

### 女子委員会の新設

全日本剣道連盟による我が国の伝統・文化に培われた剣道の普及発展

- ・2020年3月末日現在
- ・有段者登録数は 1,948,902人(内、女子 579,263人)
- ・女子は約3分の1を占め、果たすべき役割・期待感が高まる。
- ・平成30年7月2日「全剣連会長を囲む女性指導者の座談会」
- ・令和元年2月16日 剣道研究会(北本市)研究発表  
「女子剣道の更なる充実・発展を願って～現状からの提言～」
- ・令和元年6月女子委員会新設

### 令和元年度の活動状況

#### 女子剣道の普及と発展の課題

- (1) 剣道人口減少への対策
- (2) 女性指導者及び女性審判員の人材育成
- (3) 生涯を通じ、年齢や熟練度に応じた多様な剣道への関わり方への支援
- (4) 目指す剣道像の構築と競技力の向上

#### 活動内容

- (1) 女性の活動状況に関するアンケート調査実施と結果(剣窓に掲載)
- (2) 剣道研究会への参加と活動状況の報告
- (3) 大会のあり方や審判技能・指導力の向上についての研究

### 令和2年度の活動状況

#### 令和2年度の研究課題

- (1) 女子剣道指導者の育成及び指導力向上や、女子審判員の育成及び審判技能向上を図る。
- (2) 魅力ある女子大会の改善を図るために、全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会出場枠増への実施を計画する。
- (3) 子育て中の女性剣道の普及を図るため保育室を設置するなど、大会や講習会時の支援方策を検討する。
- (4) 女性の指導力向上の一環として「幼少年指導における初心者指導」を検討する。
- (5) 女子剣道の普及と質の向上を図るため、広報活動(全剣連ホームページの活用)の活性化を図る。

## 令和3年度の活動の方向性

- (1) 女性剣道指導者育成や女性の審判技能の向上に向けた施策検討
- (2) 女性大会の改革や広報活動の活性化の検討
- (3) 女子剣道の資質向上のための検討

### 今後の課題と対策について

昨今の剣道界の状況を鑑みると、少子化の原因を含め剣道人口が減少傾向です。そのような状況の中において、女子剣道の段位受審者は男子の3分の1を占め、女子剣道人口の増加傾向は極めて顕著と言えます。この素晴らしい剣道を後世に残すためにも、とりわけ女子剣道の発展が重要な意義を持つものと考えます。更に女性の役員の配置は急務と考えられます。すでに25の都道府県が女性理事を配置しています。

また、剣道人口減少を食い止めるには、幼少年の指導は特に重要です。剣道界にとって幼少年の剣道普及については喫緊の課題です。子ども達に興味をもたせつつ、正しい剣道を学ばせる指導の工夫を行うと共に、技能を高めながら、子どもの「心」を育てる指導が望まれます。女性特有の母性や優しさは、幼少年指導に適していると思います。

剣道の裾野を広げるためにも、各地域で普及と指導に女性指導者の特性を活かし、活用して頂きたいと思います。そのためにも、女性理事を配置して頂き、現状に合わせて女子委員会ができるようご支援頂ければ幸いです。

### 女子委員会からのお願い

#### (1) 女性理事の配置

- ・女子剣道の現状把握と課題解決

#### (2) 女子委員会の設立

- ・幼少年の剣道普及と女性指導者の育成と指導力向上